

ヨツボシトンボ

兵庫県：C

Libellula quadrimaculata asahinai

環境省：—

種の概要

腹長23～29mm、後翅長33～38mm程度。体色は黄褐色で、胸部と腹部に黒褐色斑を有する。翅は透明で、前後翅ともに結節部、縁紋付近に黒褐色の斑紋を持つ。平地から山地のヨシ、ヒメガマなどの抽水植物が繁茂する水が涸れないような池沼に生息し、幼虫は水底の植物遺体の間に潜んでいる。成虫は4月～7月に見られる。



写真提供：青木典司

国内分布

北海道、本州、四国、九州

県内分布記録

神戸市、姫路市、明石市、西宮市、芦屋市、相生市、豊岡市、加古川市、赤穂市、西脇市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、丹波篠山市、養父市、朝来市、淡路市、宍粟市、加東市、たつの市、猪名川町、多可町、神河町、香美町、新温泉町

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				

特記事項

要注目種からCランクに変更

この5年間で、消滅した生息地がいくつかあった。ヨシやヒメガマが消失すると姿を消す。植食性の外来種の侵入や、ため池の補修や改修による植生の除去が徐々に進んでいる現状から考えると、その生息基盤は安定しているとはいえなくなってきた。また元来が寒冷地のトンボであり、近年の気温上昇の影響も懸念される。

保護上の留意点

ヨシやヒメガマを除去しないこと。